

報告事項 2

1. 報告事項の概要

報告内容	032 天生線の臨時運休について
経緯	<p>12月24日 委託事業者であるニュー飛騨観光バス株式会社より、年末までに運転手3名が退職するとの報告を受けた。</p> <p>1月9日 スクールバス、保育園バスも含めた運行や利用の状況について、内部協議を行った。(教育総務課、子育て応援課、総務課)</p> <p>1月23日 ニュー飛騨観光株式会社の山村代表、塚腰運行管理者との面談を行った。</p> <p>1月26日 市内事業者に臨時スクールバスの運行を打診した。古川タクシー株式会社、株式会社飛騨ゆいの2社から運行に協力できる旨の回答を得た。</p> <p>1月30日 上記2社、教育委員会および各学校との調整の結果、2月9日から運行開始可能であることを確認した。</p> <p>2月9日 天生スクール便を運行開始した。 同時に、天生線・古中天生線の全便を臨時運休とした。</p>

2. 事項の詳細

	形態	路線名	利用者数	備考
天生線の 利用状況	コミュニティバス	天生線	46名	2便 20名(1名) 7便 6名(うち古川方面1名) 9便 20名(1名)
		古中天生線	1名	3便 1名
	スクールバス	古川中学校	11名	羽根～角川
		河合小学校	4名	中沢上～寺下
	保育園バス	河合保育園	0名	令和8年度も0名の見込み
天生スク ール便の 運行体制	<p>運行事業者：古川タクシー株式会社</p> <p>【古川中学校】 羽根～角川駅間を河合宮川乗合タクシーで使用している車両で輸送(9名) 角川駅を合流地として、宮川線に同乗して登下校する。</p> <p>【河合小学校】 中沢上～河合小学校間を河合宮川乗合タクシーで使用している車両で輸送(4名) ※下校時刻がコミュニティバスの運行時間と重なっている場合は、混乗可能とする。</p>			



(出典：Google Maps 2026)

今後に向けて

① 天生線の見直しについて

- ・今回の事象を受けて、市内交通事業者の運転手不足が極めて深刻な状況となっており、いつまた同様の事象が発生してもおかしくないという危機感を強くした。
- ・一方で、天生線の臨時運休に対する沿線住民からのリアクションはほとんどない状況であり、路線の需要に関する再検証が必要と考えている。
- ・計画において、地域公共交通の評価・検証の手法として、「地域公共交通を持続的に発展させるために、乗降調査や利用者アンケート等のデータを活用した評価・検証を行い、事業内容を改善する。」ことが挙げられている。(43 頁)
- ・上記の理由から、近日中に天生線沿線住民に対するアンケート調査を実施する。アンケートの結果を受けて、天生線の見直しを進めたい。

② 交通事業者との連携について

- ・市内事業者だけでは公共交通を維持していくことが難しいという状況が出てきている。市外の事業者からは協力できるという意見をいただいております、委託先についても見直しを進めていきたい。
- ・計画にも記載しているとおり、令和 8 年度からは公共交通会議の事業者部会を定期的開催していくこととする。(43 頁) 各事業者には協力をお願いしたい。事業者と市の間の情報共有を密にすることで、事業者に届いている利用者や運転手の声を汲み取ることができ、より実態に即した路線の見直しや改善を提案することが可能になると考えている。